

福井医療大学 開講科目及び時間割

1. 心理学

No.	講師名	回数	曜日	開校学期	開講日
1	青井 利哉	15	未定	前期	開講日は未定

2022年度前期 単位互換開放科目

講義要綱

SYLLABUS

※シラバスは2021年度のものを添付しています。

学校法人 新田塚学園
福井医療大学

講義科目名称：心理学

授業コード：101200A

英文科目名称：Psychology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	【選択】理学, 作業, 言語, 看護
担当教員			
青井 利哉			
講義	AT対象科目		
添付ファイル			

授業の到達目標及びテーマ	人の心を科学的に扱うことができるのかについて学ぶとともに、自分自身や他者、日常における様々な問題について心理学的視点から捉えることができるようになる。		
授業の概要	現代の心理学は、人間についての科学的で総合的な理解を目標に、心の働きと行動について研究する学問である。治療やケアの対象となる人間の心理や行動を追究し、多面的に理解するための心理学の基礎(知覚や感覚、学習、記憶、情動や動機付け、思考や言語、発達、性格)を学ぶ。 また心理学を学習することで、自己理解や自己統制を助け人間形成にも役立てる。心理学の基礎知識、方法論を学習し、自他の理解について、心理学的なアプローチがあることを学習する。		
授業計画	第1回	心理学の歴史と広がり II-3-①	いわゆる近代心理学が成立した年としては1879年があげられる。エビングハウスが1908年に出版した心理学要論の冒頭には、「心理学の過去は長いが歴史は短い」と書かれてあるが、その意味について概説する。
	第2回	心理学の研究法	実験法、質問紙法、面接法、観察法、心理検査法といった基本的な研究法の実証的論理を把握する。
	第3回	人間行動を心理学で説明するための基礎を理解する	心理学は「行動の科学」などと言われている。心理学には研究の領域によってさまざまな分野に分かれている。実験心理学、認知心理学、学習心理学、社会心理学、臨床心理学などのそれぞれの領域では人の行動をどのように説明しようとするのか概説する。
	第4回	感覚と知覚	感覚は、感覚器官を経由して外部世界や身体内部に関する情報を受容する過程のことで、知覚は感覚器官からの情報を過去の学習・経験によって活用したりすると考えられているが、具体的にどうということなのか説明する。
	第5回	学習(1) 古典的条件づけ、オペラント条件づけ、学習理論 III-3-③	学習というと学校の勉強という印象が強いが、心理学では、私たちが経験を通して身に付けたものを学習と捉える。学習(1)では、古典的条件づけにみられる基本的な学習を学ぶ。
	第6回	学習(2) 技能学習、社会的学習 III-6-②	技能を獲得するとはどういうことなのだろうか。自転車に乗れた経験や、楽器がうまくなりたくて猛練習した経験など、学習(2)では、特に動作や技術の習得についての学習を説明する。
	第7回	演繹的推論、帰納的推論、思考について	思考が果たす機能には、直面している問題を解決したり、対処したりするという特徴がある。例えば、「全ての人は死ぬ、ソクラテスは人である」から導かれる答えは何だろう。推論に見られる人の思考のあり方について説明する。
	第8回	感情、動機づけ II-3-②, II-3-③	人のさまざまな行動の背景には、行動を起こそうとする心の働きがある。行動を起こそうとする心の働きを動機づけと言い、行動を起こそうとする心の働きと、行動を起こした結果には、感情の揺れ動きが大きくかかわっている。
	第9回	記憶の特徴(感覚記憶、短期記憶、長期記憶)	心理学で扱う記憶を、感覚記憶、短期記憶、長期記憶に分類して説明する。
	第10回	記憶と忘却	忘却とは何か、なぜ忘却が起きるのか、さまざまな説を紹介しながら説明する。
	第11回	パーソナリティやパーソナリティを調べる諸方法、個人差について III-6-①	パーソナリティとは、人格・個性・性格と同義で、特に個人の全体的な特性の総体を言うが、私たちのパーソナリティをどのように調べるのか、具体的な検査を紹介しながら説明する。
	第12回	欲求不満とストレス	ストレスが引き起こす心理的な反応について説明する。
	第13回	発達の特徴(発達段階、発達課題) III-10-⑥	人の成長過程においては、個人差はあるものの、多くの人に共通して見られる発達段階ごとの特徴がある。種々の発達段階や発達理論を紹介するので、自分自身の発達と照らし合わせて聞いて欲しい。
	第14回	他者を知ること(対人認知、印象形成)	周りにいる他者について、その人がどんな人か推測したり、他者の内面についてさまざまに思いめぐらせることは誰しもが行うことである。人がどのように他者の印象を形成するのか説明する。
	第15回	心理アセスメント III-6-①, III-10-⑥	アセスメントには、評価や査定という意味がある。心理療法などの臨床心理学的援助の過程において、面接や心理検査などの技法を用いて行うかかわりのことである。なぜ心理アセスメントが必要なのか、事例を紹介しながら説明する。 定期試験

テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書・参考資料等	松川順子 編：「心・理・学」、ナカニシヤ出版、2009年 鈴木常元、谷口泰富、有光興起、他6名：心理学、新曜社、2014年 公認スポーツ指導者養成テキストⅠ、Ⅱ、Ⅲ。
学生に対する評価	筆記試験100%
オフィスアワー	月曜日、水曜日の午後 研究棟2階教員室
備考	※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成「共通科目」読替